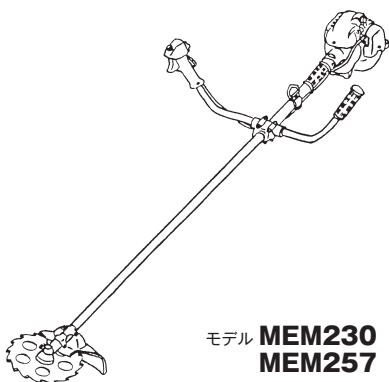




エンジン刈払機

モデル MEM230
MEM257

取扱説明書



目次

●国内排出ガス自主規制について	2
●シンボルマークについて	3
●安全上のご注意	4
●仕様	13
●各部の名称	14
●注意ラベル	16
●使用準備	17
1. ハンドルの取り付け方	
2. 飛散防護カバーの取り付け方	
3. 刈刃の取り付け、取りはずし方	
4. 緊急離脱装置付肩掛けバンドの操作方法	
●運 転	20
1. 燃料の給油	
2. 始動方法	
3. 停止方法	
●アイドリングの調整	24
●刈払作業	25
●点検と整備	26
1. エアクリーナの清掃	
2. スパークプラグの点検	
3. ギヤケースの給油	
4. 冷却風通路の清掃	
5. マフラ排気出口の清掃	
6. 燃料フィルタの清掃	
●格納方法	29
●故障かな？と思ったら	30
●保証書	36

このたびはマキタエンジン刈払機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- お求めの製品を安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前に取扱説明書をよくお読みください。
- この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。
- 取扱説明書を紛失や損傷したときは、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業所にお申し付けください。

国内排出ガス自主規制について



このラベルは、(社)日本陸用内燃機関協会の小形汎用ガソリンエンジン排出ガス自主規制に適合していることを示しています。

(社)日本陸用内燃機関協会：陸用エンジン業界の健全な発展と最新技術の開発を図り、併せて関連する諸製造業界の発展にも寄与することを目的とする団体です。

本協会は、小形汎用ガソリンエンジンの排出ガス中の有害物質を低減する自主規制に取り組んでいます。

自主規制の内容については、下記のホームページにてご覧頂けます。

<http://www.lemma.or.jp/>


シンボルマークについて


製品および取扱説明書にシンボルマークを掲載しております。このシンボルマークの意味をご理解の上ご使用ください。


	取扱説明書をよくお読みいただき内容を十分ご理解のうえご使用ください。		作業中は半径 15 m 以内に他の人や動物を近づけないでください。
	換気の悪い場所では使用しないでください。		飛散物に注意してください。
	刃物軸の最高回転数よりも高い許容回転数の刃物を使用してください。		跳ね返り（キックバック）に注意してください。
	混合燃料を入れてください。		燃料の混合、給油および機械を使用するときなどは、手入れをするときなどは、タバコを吸わないでください。
	エンジンを停止してください。		燃料の混合、給油および機械を使用するときなどは、火気を近づけないでください。
	保護具を着用してください。		万一の場合にそなえて救急箱を備えてください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 **注** : 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要な注意。

安全上のご注意

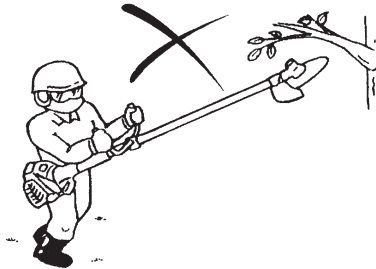
全 般

⚠ 警 告

1. ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分ご理解のうえ、ご使用ください。
 - 機械の取り扱い知識が不十分な場合、事故の原因になります。



2. 本機は雑草の刈払いを目的とした機械です。この目的以外には、使用しないでください。
 - 目的以外で使用されますと、けがや事故の原因になります。
3. 枝打ち等の作業はしないでください。
 - けがや事故の原因になりますので、腰より高い位置での草刈作業はしないでください。



4. 袖や裾の締まりのよい服装をしてください。また、手ぬぐいやタオルを首から下げ作業しないでください。
 - 回転部に巻き込まれけがの原因になります。

5. 保護帽（ヘルメット）、耳栓、保護メガネ（ゴーグル）、防振性のよい手袋、滑り止めのついた安全靴、すね当てなどの保護具を着用してください。

- 保護帽（ヘルメット）
転倒や頭上の木の枝、落下物などから頭を保護するため、保護帽を着用してください。
- 耳栓
騒音から聴力を保護するため、耳栓などの聴力保護具を着用してください。
- 保護メガネ（ゴーグル）
刈刃から飛んでくる物から目を保護するため、保護メガネを着用してください。
- 防振性のよい手袋
手の保護のため、防振性のよい手袋を着用してください。
- 安全靴
刈刃部から飛んでくる物から足を保護するため、底に滑り止めのついた安全靴（先しん入り）を着用してください。
- すね当て
刈り刃から飛んでくる物から足を保護するため、すね当てを着用してください。



⚠ 警告

- | | |
|---|--|
| <p>6. 本機を他人に貸す場合は、取り扱い方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。また、子供には本機を貸さないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">• 機械の取り扱いの知識が不十分な場合、事故の原因になります。 | <p>7. 誤った部品を取り付けたり改造をしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">• 思わぬ事故の原因になります。• 刈刃はマキタ指定のものをご使用ください。 |
|---|--|

作業を始める前に

⚠ 警 告

1. 次のときは機械を使用しないでください。事故の原因になります。
 - 疲れているとき、身体が不調なとき。
 - 酒類や薬物を飲んで正常な運転操作ができないとき。
 - 夜間の使用や悪天候などで視界の悪いとき。
 - 妊婦による作業。



2. 燃料の取り扱いには十分注意してください。

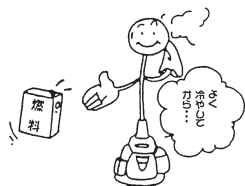
- 燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。

3. 引火、火災の恐れがあります。

- 燃料の混合および給油をするときは火気のない所で行ってください。
- 燃料の混合、給油および機械を使用するとき、手入れをするときなどはタバコを吸ったり、火気を近づけないでください。



- 燃料を給油および燃料を抜くときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。



- 燃料の入っている燃料タンクのふたを開けるときはゆっくり開けてください。内圧により燃料が飛び出すことがあります。
 - 燃料はこぼさないように注意してください。こぼれたときは、きれいに拭き取ってください。
 - 燃料の給油をした場所でエンジンを始動させないでください。少なくとも3m以上離れてください。
 - ガソリン、ガス、塗料、接着剤など引火性のある物の近くでは、使用しないでください。
 - 燃料の洩れがないか確認してください。
4. エンジンの排気ガスは有毒です。屋内、トンネル内など通気の悪い場所で使用しないでください。
- 通気の悪い場所で使用すると排気ガス中毒の原因になります。



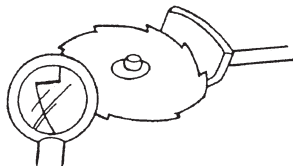
⚠ 警告

5. 雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。また、ハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。
- ・ 転倒してけがの原因になります。



6. 身体を冷やさないような服装で作業してください。

7. 刈刃にひび割れ、欠け、変形、摩耗などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。なお、刈刃点検時には手袋を着用してください。
- ・ 異常があると刈刃が破損しけがの原因になります。

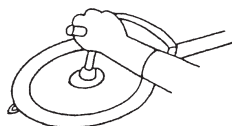


8. 刈刃は刃物軸最高回転数よりも高い許容回転数のものを使用してください。
- ・ 刈刃の許容回転数が低いと刈刃が破損し、事故の原因になります。

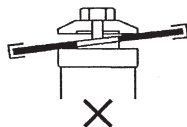
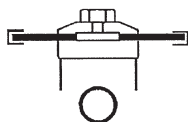


⚠ 注 意

1. 使用前にネジのゆるみや欠落した部品などがいないか確認してください。
 - ・ 不完全な機械を使用するとけがの原因になります。
2. 刃物類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。また刈刃の取り付けの際は、必ず手袋をしてください。
 - ・ 確実でないはずれたりし、けがの原因になります。



3. 刈刃を取り付ける場合は、刃受金具の凸部と刈刃の取り付け穴を確実にはめてください。
 - ・ 刈刃が正しく取り付けいていないと異常振動し、けがの原因になります。



4. 調節キーやレンチなどは必ず取りはずしてください。
 - ・ 付けたままでは使用時に飛び出して、けがの原因になる恐れがあります。
5. エンジンを始動させる前に、半径 15m 以内に他の人や動物がいないことと、刈刃が地面や樹木その他の障害物に触れていないことを確認してください。
 - ・ 刈刃が障害物に触れていると事故の原因になります。
6. 刈払いする場所にある小石、針金、空カン、空ビンなどの障害物は取り除いてから使用してください。
 - ・ 使用中に刈刃が障害物に当たると、障害物の飛散、機械の跳ね返り、刈刃の破損などにより事故の原因になります。



⚠ 警 告

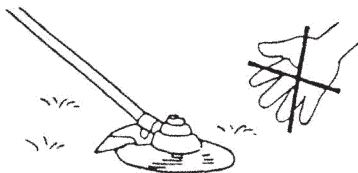
1. 刈払機は両手で確実に保持し、体重が両足にかかるように適当に足を開いて使用してください。その際、ハンドル部は常に乾いた状態にし、手が滑らないようにしてください。また、付属の緊急離脱装置付肩掛けバンドを必ず着用してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。



2. 始動時および運転中には、プラグキャップ部に手を触れないでください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 飛散防護カバーは必ず指定の位置に取り付けて使用してください。
 - ・ 飛散防護カバーを取り付けなかったり、指定の位置に取り付けずに使用しますと小石などが飛散した場合、けがの原因になります。



4. 回転している刈刃に手や顔、衣服などを不用意に近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。



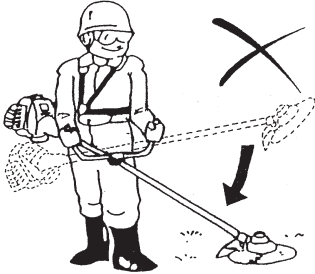
5. 使用中に刈刃が石などの障害物に当たったときは、すぐにエンジンを停止させ刈刃の回転が停止したことを確認してから異常がないか調べてください。
 - ・ そのまま使用していると事故の原因になります。
6. 刈刃に雑草などがからみついたときは、必ずエンジンを停止し、刈刃の回転が停止したことを確認してから取り除いてください。
 - ・ 刈刃やエンジンが回ったままではけがの原因になります。
7. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにエンジンを停止させ使用を中止してください。
 - ・ そのまま使用していると事故の原因になります。



⚠ 警告

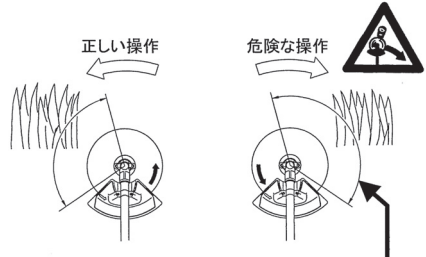
8. 刈刃で打つ、たたく等の方法で刈払作業をしないでください。

- 跳ね返りや刈刃が破損し事故の原因になります。



9. 使用中、キックバックが起こる可能性が有ります。キックバック防止の為、刈刃を右から左に操作して刈払い作業をおこなってください。

- キックバックが起こると、本機が思わぬ方向に動き、けがや事故の原因になります。



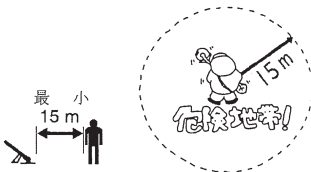
キックバック: この範囲で刈刃が硬いものに当たると、反動で運転者側(自分の方向)にはね返されます。

⚠ 注意

1. 使用中は半径 15m 以内に他の人や動物などを近づけないでください。また 2人以上で作業を行うときは、お互いに 15m 以上の間隔を取り、監督者をおいでください。

使用中、15m 以内に他の人や動物などが近づいた場合は、直ちにエンジンを停止し作業を中止し、注意をうながしてください。

- 不用意に他の人や動物などを近づけると事故の原因になります。



2. 刈払機を使用している人に近づくときは、使用者から 15m 以上離れた位置で合図し、エンジンの停止と刈刃の回転の停止を確認してから近づいてください。

- 不用意に近づくとき使用者が気が付かず事故の原因になります。



△ 注 意

3. 刈刃が石や縁石、フェンスなどに当たる恐れのある場所では使用しないでください。

- 使用中に刈刃が石や縁石、フェンスなどに当たると、跳ね返りまたは刈刃が破損し、事故の原因になります。

4. エンジンの始動は安定のよい場所で行ってください。事故の原因になります。

5. 作業に合った刈刃の回転数で使用してください。

- 回転が低すぎますと雑草がからみつくことがあります。
- 回転数が高すぎますと燃費も悪いだけでなく、機械の寿命を縮める原因にもなります。

6. 長時間の作業は、身体に負担がかかります。連続使用時間は30分以内とし、一連続作業の後5分以上の休止時間を設けてください。また、一日の作業時間は2時間以内としてください。

- 身体が疲労すると注意力が欠け、けがや事故の原因になります。

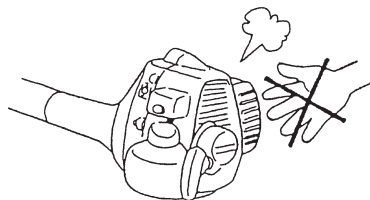
(参考) 国有林では、作業者の健康管理のため、次のような基準が設けられています。

1回の連続作業時間	30分以内
1日の作業時間	2時間以内
1週の作業日数	5日以内
1月の作業時間	40時間以内

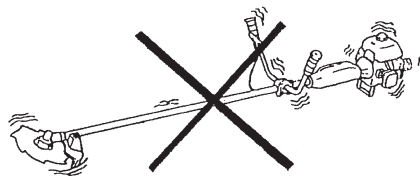
7. 使用中およびエンジン停止直後、マフラ、シリンダフィンなどの高温部に身体が触れないように注意してください。

- やけどの原因になります。

 高温注意



8. エンジンをかけたまま放置しないでください。事故の原因になります。



9. 刈払機から離れる時または、休憩時にはエンジンを停止し刈刃の回転が停止したことを確認してから刈刃に刃物カバーを取り付けてください。

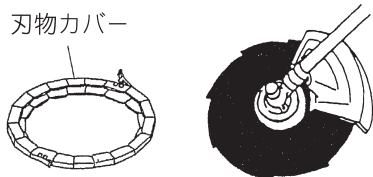
- けがの原因になります。

△ 注 意

1. 運搬時や格納時、休憩時は刃物カバーを必ず取り付けてください。

- けがの原因になります。

刃物カバー



2. 車で移動する場合や本機を発送する場合には、燃料を燃料タンクから抜き、燃料タンクが完全に空になっていることを確認してください。

- 火災、事故の原因になります。

3. 万一の事故に備えて、必ず救急箱を作業場の近くに備え付けてください。救急箱から持ち出した場合には、直ちに交換品を入れておいてください。



4. 注意ラベルがはがれてしまった場合は、新しい注意ラベルを貼ってください。

注意ラベルは、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業所にお申しつけください。

5. いつも安全に能率よくご使用いただくために定期点検をお勧めします。点検修理は、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業所にお申しつけください。

- 修理の知識や技術のない人が修理しますと事故の原因になります。

仕 様

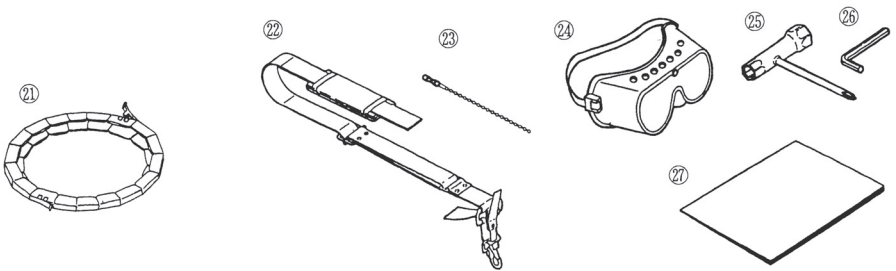
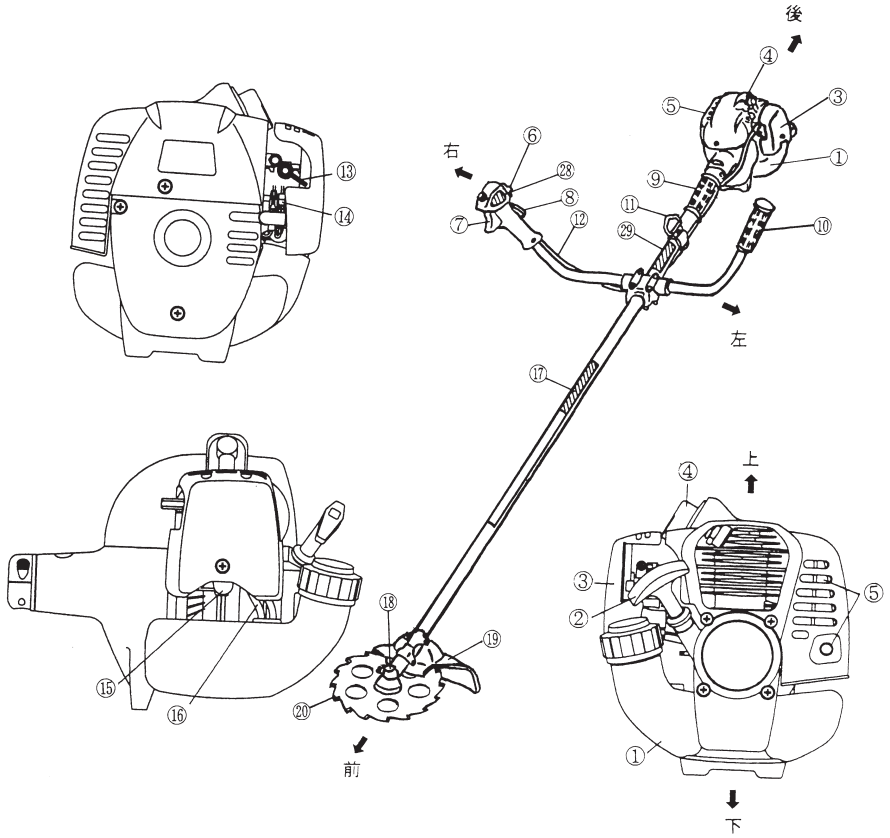
機 種		動力刈取機 (刈払型)	
型 式 名		MEM230	MEM257
乾 燥 質 量 (kg)		4.3	
寸法 (全長×全幅×全高) (mm)		1,770 × 600 × 360	
刃物軸最高回転数 (min ⁻¹)		6,800	
エ ン ジ ン	総排気量 (mL)	21.7	24.5
	使用燃料	レギュラーガソリンと2ストローク専用エンジンオイルの混合ガソリン	
	混 合 比	25 ~ 50:1 (マキタ純正 2ストローク専用エンジンオイル または、JASO 分類 FC 級以上のオイル使用)	
	燃料タンク容量 (L)	0.45	
	気 化 器	ダイヤフラム式	
	点 火 方 式	無接点マグネット方式	
	点 火 プ ラ グ	NGK BM7A 相当品	
	始 動 方 式	リコイル式 (デコンプ付)	
動力伝達部	クラッチ方式	自動遠心方式	
	ギヤ変速比	14 / 18 減速	
操 作 部	携行バンド	緊急離脱装置付肩掛けバンド	
	操作ハンドル	両持 U 型分割式	
	エンジン回転制御方式	トリガレバー	
振動 3 軸合成値 (m/s ²)		—	4.1
標準付属品		チップソー (230 mm)、保護メガネ、飛散防護カバー、刃物カバー、 肩掛けバンド、ボックスレンチ、六角棒レンチ、取扱説明書	
別 販 売 品		8枚刃 (230 mm)、4枚刃 (230 mm)	

1. 刈刃、オイル、スパークプラグは、**マキタ指定**のものをご使用ください。
2. 仕様は都合により変更させていただきます。
3. 質量は ISO11806 規格に基づき測定。
4. 振動 3 軸合成値は、ISO22867 規格に基づき測定。
5. 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA((社)日本電機工業会)ウェブサイト：<http://www.jema-net.or.jp/japanese/pis/powertool.html> をご参照ください。

名称	部品番号
刈刃 (チップソー、230 mm)	A-33118
刈刃 (8 枚刃、230 mm)	A-10023
刈刃 (4 枚刃、230 mm)	A-10039
オイル (2 ストローク専用エンジンオイル、1L × 5 個入)	A-05175

注、上記指定刈刃以外は使用しないでください。

各部の名称



- ① 燃料タンク : 燃料を入れる容器です。
- ② スタータハンドル : このハンドルを引いてエンジンを始動します。
- ③ エアクリーナカバー : エアクリーナを保護し、密閉するカバーです。
- ④ スパークプラグ : エンジンに点火するプラグです。
- ⑤ マフラー : エンジンの爆発音を消音し、排気ガスを排出します。
- ⑥ エンジン停止スイッチ : エンジンを運転、停止するときに操作します。
- ⑦ スロットルレバー : エンジン回転数を指で調整するためのものです。
- ⑧ ロックオフレバー : 作業姿勢にないときにスロットルレバーが働かないようにする安全装置です。
- ⑨ 腰当て : 腰、脚、衣服を守ります。
- ⑩ ハンドル : 刈払い作業時に握るハンドルです。
- ⑪ ハンガー : 緊急離脱装置付肩掛けバンドを引っ掛けます。
- ⑫ コントロールケーブル : エンジン回転数を調整するためのもので、スロットルレバーと連動しています。
- ⑬ チョークレバー : エンジンが冷えているときの始動時にチョークレバーを " 閉 " の位置に操作します。
- ⑭ コネクタ : エンジンを停止するためのリード線をつなぎ合わせます。
- ⑮ プライマポンプ : エンジンを始動するときこのポンプを数回押し、キャブレタに燃料を送り込みます。
- ⑯ 燃料チューブ : 燃料タンクからキャブレタに燃料を送り込みます。
- ⑰ ネームプレート : 機種、型式名、製造ナンバーが記載されています。
- ⑱ ギヤケース : 2つの歯車からなり回転軸の回転の角度と速度を変えます。
- ⑲ 飛散防護カバー : 刈刃との不用意な接触と、刈刃からの飛散物から作業者を守ります。取り付け方法は、18頁を参照してください。
- ⑳ 刈刃 : 刈払い作業時の刈刃です。取り付け方法は、18頁を参照してください。
- ㉑ 刃物カバー : 機械の持ち運びをする時などに使用する刈刃のカバーです。
- ㉒ 肩掛けバンド : 長さの調節ができるバンドで機械を吊り下げるのに使用します。緊急離脱装置付です。装着方法は19頁を参照してください。
- ㉓ 結束バンド : コントロールケーブルとメインパイプを固定します。固定方法は17頁を参照してください。
- ㉔ 保護メガネ : 刈刃から飛んでくるものから目を保護するためのものです。
- ㉕ ボックスレンチ : 刈刃の取付けや点検・整備を行う時に使用します。
- ㉖ 六角棒レンチ : 刈刃の取付けや点検・整備を行う時に使用します。
- ㉗ 取扱説明書 : 製品の取扱いが記載されています。ご使用前には必ずよくお読みください。
- ㉘ スロットルレバーラベル : スロットルレバーの操作が記載されています。
- ㉙ 肩掛けバンドラベル : 肩掛けバンドの取扱いが記載されています。

注意ラベル

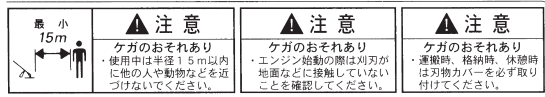
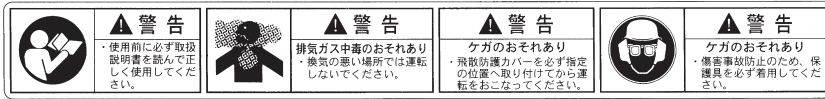
本機を安全に使用していただくために、本機には注意ラベルが貼ってあります。注意ラベルを全て読んでからご使用ください。

注意ラベルははっきりと見えるように、常にきれいにしておいてください。

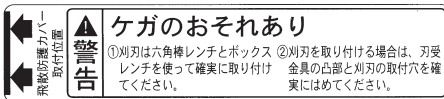
本機に貼ってあるラベルが汚れ、破れ、紛失などで読めなくなったときは、新しいラベルに貼り変えてください。

また、ラベルが貼られている部分を交換する場合は、ラベルも新しいものと交換し、貼り付けてください。

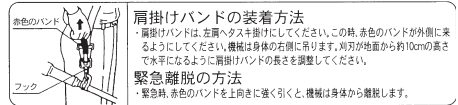
ラベルはお買い上げの販売店またはお近くの当社営業所にお申しつけください。



貼付位置：①



貼付位置：②



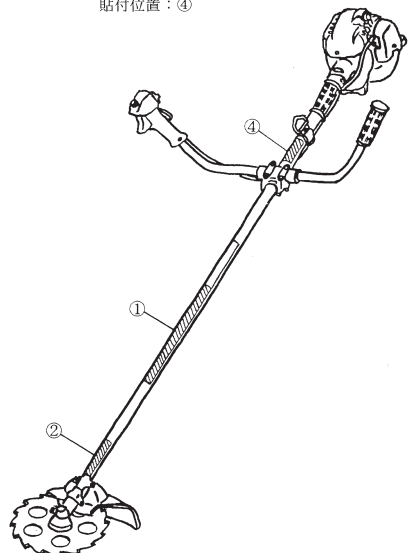
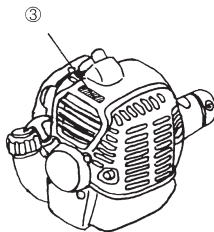
貼付位置：④

高温注意

貼付位置：③

使用中およびエンジン停止後は、マフラ、シリンダフィンなどの高温部に身体が触れないように注意してください。

・やけどの原因になります。



使用準備

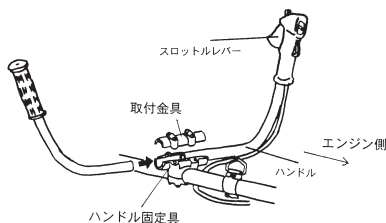
本機はハンドル、飛散防護カバー、刈刃がはずしてありますので次の手順で付属の工具を使用し取り付けてください。

⚠ 注意

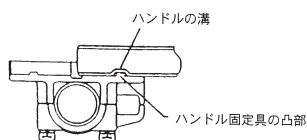
ハンドル、飛散防護カバーを取り付けずにエンジンを始動しないでください。

1. ハンドルの取り付け方

①スロットルレバーの付いたハンドルがエンジン側から見て右側に、もう一方のハンドルが左側になるようにしてハンドル固定具にのせてください。

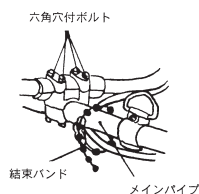


②ハンドル固定具の凸部にハンドルの溝を合わせてから付属の取付金具と、六角穴付ボルトで仮止めしてください。



③ハンドルを使いやすい角度に調整し、六角穴付ボルト4本を六角棒レンチで左右均等にしっかり締め付けてください。

④付属品の結束バンドでコントロールケーブルをメインパイプに固定してください。



注

ハンドルの取り付けは、ボルトの締めすぎに注意してください。

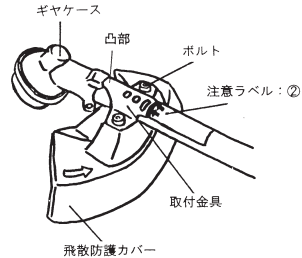
2. 飛散防護カバーの取り付け方

⚠ 警 告

●飛散防護カバーは必ず指定の位置に取り付けて使用してください。

- ・飛散防護カバーを取り付けなかったり、指定の位置に取り付けないで使用しますと小石などが飛散した場合、けがの原因になります。

- ①取付金具の凸部を図の様にギヤケースに差し込んで位置を注意ラベルに合わせてください。
- ②取付金具に飛散防護カバーを2本のボルトで取り付け、六角棒レンチでしっかり締め付けてください。



3. 刈刃の取り付け、取りはずし方

⚠ 注 意

●刈刃を取り付ける場合は、刃受金具の凸部と刈刃の取付穴を確実にはめてください。

- ・刈刃が正しく取り付けられていないと異常振動し事故の原因になります。

●刈刃の取り付け、取りはずしの際は、必ず手袋をしてください。

- ・ケガの原因になります。

●刈刃の取り付け、取りはずしは、必ず付属のボックスレンチを使用してください。

- ・付属工具以外で締め付けた場合、締め過ぎにより破損し、事故の原因になります。

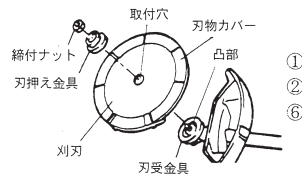
●刈刃にひび割れ、欠け、変形、摩耗などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。なお、刈刃点検時には手袋を着用してください。

- ・異常があると刈刃が破損し、けがの原因になります。

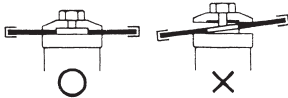
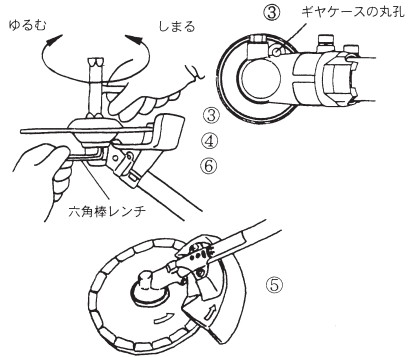
●作業時、刈刃に異常が発生した場合はエンジンを停止させ刈刃の回転が止まったことを確認してから点検交換を行ってください。

●刈刃の締め付けナット（バネ座金付き）は消耗品です。バネ座金に摩耗や変形がありましたら交換してください。

- ①刈刃に刃物カバーを取り付けます。
- ②本機を裏返しにしてください。
- ③ギヤケースの丸孔に六角棒レンチを差し込み、刃受金具が回らないように固定してください。
- ④刃押え金具凸部の締め付けナットを右へ回して締め付けナットと刃押え金具をはずしてください。



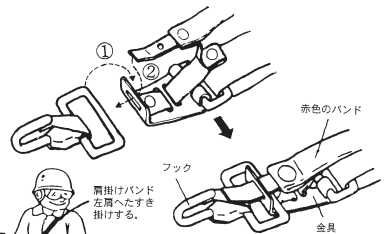
- ⑤ 飛散防護カバーの矢印と刃の回転方向を合わせてください。
- ⑥ 刃受金具の凸部と刃の取付穴を合わせて、刃→刃押え金具→締付ナットの順に取り付け、付属のボックスレンチで締付ナットを左に回してしっかり締め付けてください。
- ⑦ 六角棒レンチを外し、刃を手で軽く回してください。
刃の取付穴が刃受金具の凸部からずれていないことを確認してください。ずれている場合は、もう一度刃を取付け直してください。



- ⑧ 刈払作業を行うときは刃物カバーを取り外してください。
・ 刃物を取り外すときは、取り付け方と同じ要領で行ってください。

4. 緊急離脱装置付肩掛けバンドの操作方法

- ・ 肩掛けバンドの金具とフックがしっかり取り付けられているか確認してください。
- もし、はずれている場合は、①②の順序で図のように取り付けてください。

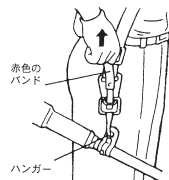


肩掛けバンドの装着方法

- ・ 肩掛けバンドは、左肩へタスキ掛けにしてください。
- この時、赤色のバンドが外側へくるようにしてください。
- ・ 機械は身体の右側に吊ります。
- ・ 刃が地面から約10 cmの高さで水平になるように肩掛けバンドの長さを調節してください。

緊急離脱の方法

- ・ 緊急時、赤色のバンドを上向きに引くと、機械は身体から離脱します。





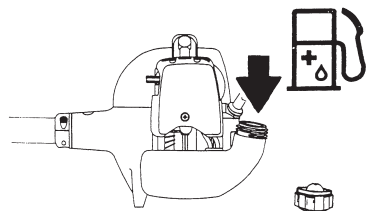
1. 燃料の給油

⚠ 警 告

- 燃料の混合および給油をするときは必ず次の事項をお守りください。引火・火災の原因になります。
 - ・火気のない所で行ってください。またタバコを吸ったり、火気を近づけないでください。
 - ・エンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
 - ・燃料の入っている燃料タンクキャップを開けるときはゆっくり開けてください。内圧により燃料が飛び出すことがあります。
 - ・燃料をこぼさないように注意してください。こぼれたときは、きれいに拭き取ってください。
 - ・換気のよい所で行ってください。
- 燃料の取り扱いには十分注意してください。
 - ・燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。

- ・本機に使用する燃料は、レギュラーガソリンと2ストローク専用エンジンオイルを25～50：1の割合で混ぜた混合ガソリンです。ただし、マキタ純正2ストローク専用エンジンオイルまたはJASO分類FC級以上のオイルを使用してください。
 - ・レギュラーガソリンに混ぜるオイルの種類や混合する割合が異なると、エンジン不調の原因になりますので、必ず指定されたオイルを指定の割合で混合してください。(右図参照)
 - ・別売品の燃料混合容器を使用しますと便利です。
- ①燃料タンクキャップを開け、ろうなどを使用してこぼさないように注意しながら混合ガソリンを入れてください。
 - ②給油が終わりましたら燃料タンクキャップをしっかり締め付けてください。
 - ・燃料タンクキャップは消耗品であり、2～3年で交換が必要です。

ガソリン	オイル	
	+	
	50:1	25:1
1000mL (1L)	20mL	40mL
5000mL (5L)	100mL	200mL
10000mL (10L)	200mL	400mL



燃料の保管期間

- ・燃料は燃料専用容器に入れ、日陰で風通しのよい場所に保管した場合で4週間以内に使い切ることが目安です。専用容器がないとき、栓をしないうちなど、夏場では1日で劣化する場合があります。

2. 始動方法

⚠ 警 告

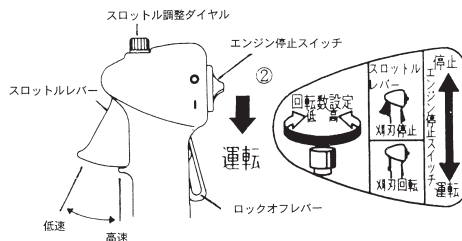
- 燃料を給油した場所でエンジンを始動させないでください。少なくとも3 m 以上離れた所で始動させてください。
 - ・ 引火、火災の原因になります。
- エンジンの排気ガスは有毒です。屋内、トンネル内など通気の悪い場所で使用しないでください。
 - ・ 通気の悪い場所で使用すると排気ガス中毒の原因になります。
- エンジンを始動する前に、緊急離脱装置付肩掛けバンドを装着し、異常がないかを確認してください。
- 始動後、音、におい、振動などの異常を感じたら直ちにエンジンを停止し、点検を行ってください。
 - ・ そのまま使用しますと、事故の原因になります。
- スロットルレバーを“刈刃停止位置”に戻したとき、刈刃が停止することを確認してください。刈刃は惰性でしばらく回転した後、停止します。
- エンジン停止スイッチを“停止”にしたとき、エンジンが停止することを確認してください。

⚠ 注 意

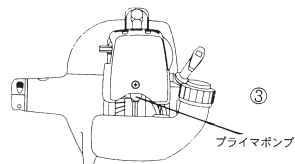
- エンジンを始動させる前、刈刃が地面や樹木その他の障害物に触れていないことを確認してください。
 - ・ 刈刃が障害物に触れたまま始動させると事故の原因になります。
- エンジン始動前に刈刃が正しく取り付けられているかどうか確認してください。

1) エンジンが冷えている場合または燃料を給油した場合

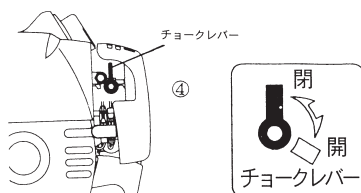
- ①本機を平坦な地面の上においてください。
- ②エンジン停止スイッチを「運転」の位置にしてください。



- ③燃料がプライマポンプに入るまで、プライマポンプを繰り返し押ししてください。



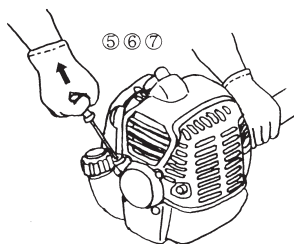
- ④ チョークレバーを「閉」(垂直)の位置にしてください。



- ⑤ エンジン部が動かないように片手で本機を押さえ、腰を十分に落として安定した姿勢をとってください。

- ⑥ スタータハンドルに抵抗を感じるまでゆっくり引き出してください。

- ⑦ 抵抗を感じたら勢いよく引き出し、エンジンが始動するまで繰り返してください。



- ⑧ エンジンが始動しましたら、チョークレバーを「開」の位置に戻してください。なお、スロットルレバーを少し握り、放しても自動的に「開」の位置に戻ります。

スロットルレバーはロックオフレバーと一緒に握ってください。

- ⑨ 1～2分間低速で暖機運転をしてください。

- ⑩ エンジンの回転数が安定し、低速から高速回転にしたときに滑らかに加速するようになれば暖機運転完了です。

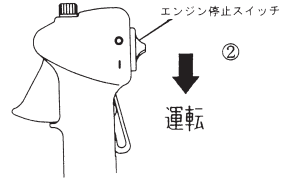
- ⑪ スロットルレバーとロックオフレバーを一緒に握りながらスロットル調節ダイヤルを回して作業に適した刈刃の回転になるようにしてください。

注

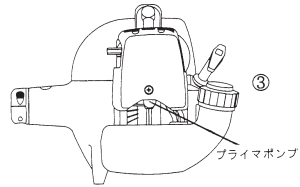
- ・ チョークレバーを「閉」の位置から更に左に回すと破損します。
- ・ 爆発音がしてエンジンが止まった場合、または、始動したがチョークレバーを操作する前に止まった場合は、チョークレバーを「開」にもどし、再びスタータハンドルを数回引いて始動させてください。
- ・ チョークレバーを「閉」の位置にもどしたまま、スタータハンドルをいつまでも繰り返し引き続けると燃料を吸い込みすぎて始動しにくくなります。
- ・ 燃料を吸い込みすぎたときは、スパークプラグをはずしてスタータハンドルをすばやく数回引いて余分な燃料を出してください。また、スパークプラグの電極部を乾かしてください。

2) エンジンが暖まっている場合

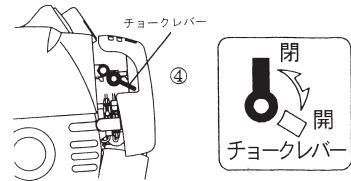
- ① エンジンを平坦な地面の上に置いてください。
- ② エンジン停止スイッチを「運転」の位置にしてください。



- ③ プライマポンプを数回、押してください。



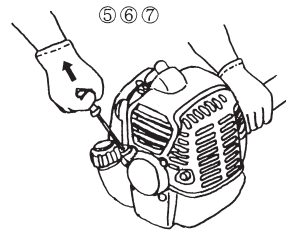
- ④ チョークレバーが「開」になっていることを確認してください。



- ⑤ エンジン部が動かないように片手で本機を押さえ、腰を十分に落として安定した姿勢をとってください。

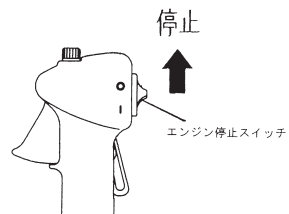
- ⑥ スタータハンドルに抵抗を感じるまでゆっくり引き出してください。

- ⑦ 抵抗を感じたら勢いよく引き出し、エンジンが始動するまで繰り返してください。



3. 停止方法

- ・ エンジンを停止させるときは、スロットルレバーを放し、エンジン停止スイッチを「停止」の位置にしてください。



アイドリングの調整

△ 注 意

●キャブレタは工場出荷時に調整済みです。アイドリング調整以外は調整しないでください。もし調整が必要になりましたら、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業所にお申しつけください。

- ・ エンジン始動時に刈刃が回転したり、スロットルレバーを刈刃停止位置に戻し、アイドリング状態にしても刈刃が回転しつづける場合は異常です。

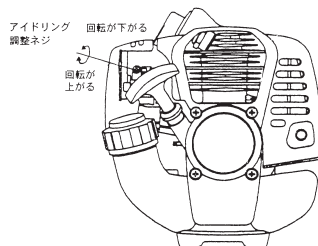
このような場合には次の要領でアイドリング調整を行ってください。

①アイドリング調整はボックスレンチのドライバーで調整ネジをまわして行ってください。

②アイドリング時に調整ネジを左に回すと、回転が下がり刈刃が回転しなくなります。

(調整ネジを右に回すと回転数が上がります。)

- ・ アイドリング時とクラッチミート（刈刃が回り始める回転数）時との間に十分な差があり、アイドリング時には刈刃が完全に停止しているよう調整してください。
- ・ 回転数を下げすぎるとエンジンが停止してしまうことがあります。この場合は調整ネジを右に回し回転数を上げてください。



刈払作業

作業方法

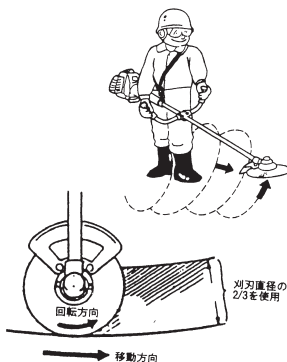
⚠ 警 告

- 刈刃に雑草などがからみついたときは、必ずエンジンを停止し、刈刃の回転が停止したことを確認してから取り除いてください。
 - ・ 刈刃やエンジンが回ったままではけがの原因になります。
- 刈刃で打つ、たたく等の方法で刈払作業をしないでください。
 - ・ 跳ね返りや刈刃が破損し事故の原因になります。
- 雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。またハンゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。
 - ・ 転倒してけがの原因になります。

⚠ 注 意

- 刈払する場所にある小石、針金、空カン、空ピンなどの障害物は取り除いてから使用してください。
 - ・ 使用中、刈刃が障害物に当たると、障害物の飛散、機械の跳ね返り、刈刃の破損などにより事故の原因になります。

- ・ エンジンを始動させ、肩掛けバンドを着用して身体の右側に吊ってください。
- ・ 両手でハンドルを保持し、両足に平均に体重がかかるように適当に開いてください。
- ・ 刈刃を地面から浮かし、スロットルレバーを調節しながら草刈作業に合った適当な回転にします。
刈刃の回転が低すぎますと、雑草が刈刃にからみつくことがありますので注意してください。
刈払機は、身体のまわりを右から左へ回すようにしながら前進し、雑草を刈ってください。
このとき刈刃の左側を少し下げるように傾けますと、刈った雑草が左側に寄り能率的に作業が行えます。
- ・ 刈り残しをなくすために、刈刃の先端から2/3の範囲で刈ってください。
- ・ 雑草が高く繁っているときは、まず雑草を高く刈って障害物がよく見えるようにしてからもう一度刈り取ってください。



点検と整備

△ 注 意

- 点検整備するときはエンジンを停止させ、エンジンが冷えてから行ってください。またスパークプラグやプラグキャップをはずしてください。
 - ・ 停止直後やプラグキャップを付けたままですと、やけどや不要な始動による事故の原因になります。
- 点検整備後は必ずすべての部品を組み付けたことを確認してから運転を行ってください。

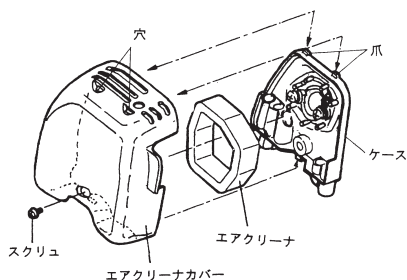
お買い上げいただきました製品をいつまでも調子良く長持ちさせ、安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備を行ってください。スロットルワイヤの調整は行わないでください。整備には付属の工具の他にワイヤブラシ、針金なども必要です。

使用前	エンジン、ねじ、ナット エアクリーナ 冷却風通路 刈刃	損傷と締まり具合の目視検査 全体的な状態と安全度の確認 掃除 (27 頁参照) 掃除 (28 頁参照) 損傷と切れ味、締まり具合の確認 (18 頁参照)
給油後	スロットルレバー エンジン停止スイッチ	機能確認 (21 頁参照) 機能確認 (23 頁参照)
30 時間毎	ギヤケース	グリースの補給 (28 頁参照)
毎週	スパークプラグ マフラ	チェック、必要な場合は交換 (27 頁参照) チェック、必要な場合は排気出口を掃除 (28 頁参照)
3 ヶ月毎	燃料フィルタ 燃料タンク	掃除 交換 (28 頁参照) 掃除 (28 頁参照)
1 年毎	燃料パイプ	交換 (お買い上げの販売店またはお近くの当社営業所にお申し付けください。)
2 年毎	燃料タンクキャップ	交換 (お買い上げの販売店またはお近くの当社営業所にお申し付けください。)
休業休止時	燃料タンク キャブレタ	空にする (29 頁参照) エンジンを運転し続け燃料を空にする (29 頁参照)

1. エアクリーナの清掃

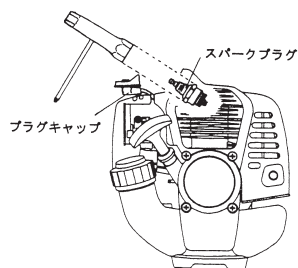
- ・ エアクリーナが目詰まりすると始動困難になったり、エンジンの回転が上がらない場合があります。作業前には、次の要領で清掃してください。

- ①ボックスレンチのドライバーでエアクリーナカバーのスクリュをはずしてください。
- ②エアクリーナカバーの下に指を入れてカバー下側を押し下げエアクリーナカバーをはずしてください。
- ③エアクリーナを取り出して中性洗剤入りのぬるま湯でよく洗い、よく乾かしてください。
- ④清掃が終わりましたらエアクリーナを取り付けてください。
- ⑤エアクリーナカバー上側の穴にケース上側の爪をはめ込んでから、カバーを押し付けエアクリーナカバーを取り付け、スクリュを締め付けてください。



2. スパークプラグの点検

- ①プラグキャップを抜いてボックスレンチでスパークプラグをはずしてください。



- ②電極の隙間が 0.6 ~ 0.7 mm になっているか確認してください。

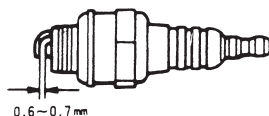
(ハガキ 3 枚分の厚さ)

もし広がりすぎたり、狭すぎる場合は調整してください。

- ・ カーボンが溜まったり、汚れている場合は、ワイヤブラシなどできれいに清掃してから取り付けてください。

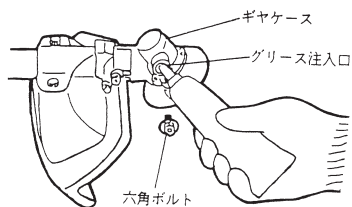
またひどく摩耗したり、焦げているものは新品と交換してください。

- ③交換に際しては、NGK - BM7A もしくは NGK - BM7A 相当品をご使用ください。
- ④点検後は、プラグキャップをスパークプラグに差し込んでください。



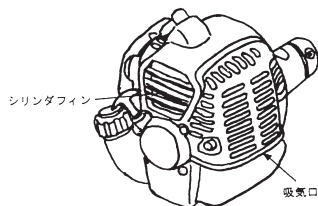
3. ギヤケースの注油

- ・ 使用30時間毎に、ボックスレンチのドライバーでギヤケース側面の六角ボルトをはずしてグリース（シェルアルバニアNo.2相当品）を注油してください。
注油後は六角ボルトを取り付けてください。



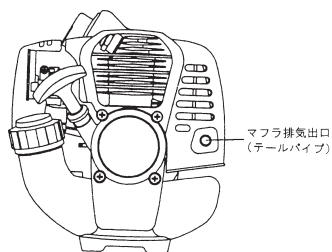
4. 冷却風通路の清掃

- ・ 吸気口やシリンダフィンにゴミが詰まるとエンジンの冷却が悪くなります。時々点検してゴミを取り除いてください。



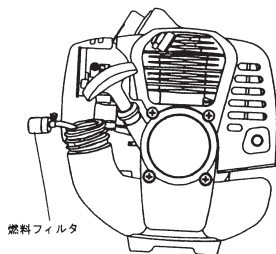
5. マフラ排気出口の清掃

- ・ マフラ排気出口は定期的にチェックしてください。もしカーボンなどが付着し、詰まっている場合には、付属のレンチ等でカーボンを取り除いてください。



6. 燃料フィルタの清掃

- ・ 燃料フィルタが目詰まりすると始動困難になったり、エンジンの回転数が上がらない場合があります。
 - ・ 燃料フィルタは次の要領で定期的にチェックしてください。
- ①燃料タンクキャップを外し、燃料を抜き、燃料を空にしてください。この時、燃料タンク内に異物が残っていないかを確認し、残っている場合はきれいに抜き取ってください。
 - ②燃料フィルタを針金などを使い、給油口から引き出します。
 - ③燃料フィルタの表面が汚れている場合はガソリンで汚れを落としてください。汚れたガソリンは各自治体指定の方法で処分してください。
燃料フィルタの汚れが著しいときは交換してください。
 - ④燃料フィルタを燃料タンク内に戻し、燃料タンクキャップを確実に締め付けてください。



格納方法

⚠ 警 告

●燃料を抜くときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。

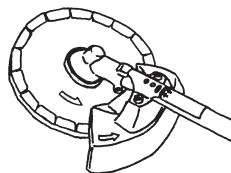
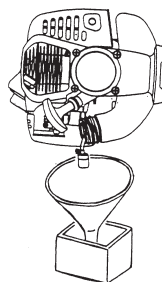
- ・ 停止直後では、やけどまたは引火、火災の原因になる恐れがあります。

注

●長期間ご使用にならないときは、燃料タンクやキャブレタから燃料を全部抜いて、乾燥したきれいな場所に格納してください。

・ 次の要領で燃料タンクとキャブレタから燃料を抜いてください。

- ①燃料タンクキャップを外し、燃料を抜き、燃料を空にしてください。この時、燃料タンク内に異物が残っていないかを確認し、残っている場合はきれいに抜き取ってください。
- ②燃料フィルタを針金などを使い、給油口から引き出します。
- ③プライマポンプ内の燃料がなくなるまでプライマポンプを数回押し、燃料タンク内に出てきた燃料を抜いてください。
 - ・ 抜き取った燃料は燃料専用容器に入れ、日陰で風通しのよい場所に保管してください。
- ④燃料フィルタを燃料タンク内に戻し、燃料タンクキャップを確実に締め付けてください。
- ⑤最後にエンジンが停止するまで運転させてください。
- ⑥スパークプラグをはずし(27頁参照)、その穴からエンジンオイルを数滴たらしめてください。
- ⑦スタータハンドルをゆっくり引き、エンジン内にオイルを行きわたらせ、スパークプラグを取り付けてください。(27頁参照)
- ⑧刈刃には刃物カバーを取り付けて保管してください。



故障かな？ と思ったら

修理を依頼される前に、まずご自身で点検を行い、その上でなお異常があるときは、取扱説明書の記載内容以外はむやみに分解しないで、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業所にお申しつけください。

不具合の状況	原因(状態)	対応
エンジンが 始動しない	エンジン停止スイッチの操作忘れ	“運転”にしてください(21頁参照)
	プライマポンプの操作忘れ	7～10回押してください(21頁参照)
	スタータロープの引き速度が遅い	勢いよく引き出してください(22頁参照)
	燃料切れ	燃料を給油してください(20頁参照)
	燃料フィルタの目詰まり	清掃してください(28頁参照)
	燃料チューブが折れている	折れ目を直してください
	プラグキャップが外れている	確実に取り付けてください
	スパークプラグの汚れ	清掃してください(27頁参照)
	スパークプラグ電極の隙間の異常	隙間を調整してください(27頁参照)
	スパークプラグのその他の異常	交換してください(27頁参照)
	その他	点検整備を依頼してください
	エンジンが すぐ止まる エンジンの回転 が上がらない	暖機不足
エンジンが暖まっているのにチョークレバーを“閉”にしている		“開”にしてください(23頁参照)
燃料フィルタの目詰まり		清掃してください(28頁参照)
エアクリーナの汚れ、目詰まり		清掃してください(27頁参照)
マフラー排気出口の目詰まり		清掃してください(28頁参照)
アイドリングの回転が低い		調整してください(24頁参照)または点検整備を依頼してください。
その他		点検整備を依頼してください
刈刃が 回転しない ↓ 直ちにエンジンを 停止する	刈刃締付ナットが緩んでいる	確実に取り付けてください(18頁参照)
	刈刃、飛散防護カバーに小枝等が引っかかっている	異物を取り除いてください
	その他	点検整備を依頼してください

不具合の状況	原因(状態)	対応
本機が異常に振動する ↓ 直ちにエンジンを停止する	刈刃が割れ、曲がり、摩耗している	刈刃を交換してください(18頁参照)
	刈刃締付ナットが緩んでいる	確実に取り付けてください(18頁参照)
	刈刃と刃受金具の凸部がずれている	確実に取り付けてください(18頁参照)
	その他	点検整備を依頼してください
刈刃の回転が止まらない ↓ 直ちにエンジンを停止する	アイドルリングの回転が高い	調整してください(24頁参照)または点検整備を依頼してください
	その他	点検整備を依頼してください
エンジンが止まらない ↓ エンジンをアイドルリングにして、チョークレバーを“閉”にする	コネクタが外れている	確実に取り付けてください
	その他	点検整備を依頼してください

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)